

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】平成 18 年 9 月 7 日 (2006.9.7)

【公表番号】特表 2002-525395 (P2002-525395A)
 【公表日】平成 14 年 8 月 13 日 (2002.8.13)
 【出願番号】特願 2000-571283 (P2000-571283)
 【国際特許分類】

C 0 8 F 2/44 (2006.01)
B 2 9 C 39/02 (2006.01)
C 0 8 F 2/00 (2006.01)
C 0 8 F 2/50 (2006.01)
C 0 8 F 291/00 (2006.01)
C 0 8 J 5/00 (2006.01)
G 0 2 B 1/04 (2006.01)
 B 2 9 K 21/00 (2006.01)
 B 2 9 K 69/00 (2006.01)
 B 2 9 L 11/00 (2006.01)

【F I】

C 0 8 F 2/44 C
 B 2 9 C 39/02
 C 0 8 F 2/00 B
 C 0 8 F 2/50
 C 0 8 F 291/00
 C 0 8 J 5/00 C F D
 G 0 2 B 1/04
 B 2 9 K 21:00
 B 2 9 K 69:00
 B 2 9 L 11:00

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 7 月 12 日 (2006.7.12)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】特許請求の範囲
 【補正方法】変更
 【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 デッドポリマー、反応性可塑剤および開始剤の混合物を含む重合可能な組成物であって、ここで、該重合可能な組成物が、硬化する前は半固体である、組成物。

【請求項 2】 請求項 1 に記載の重合可能な組成物であって、前記デッドポリマーが、熱可塑性エラストマーであり、好ましくは、スチレン - ブチレン - スチレンコポリマー、スチレン - イソプレン - スチレンコポリマー、またはスチレン - エチレン - ブダジエン - スチレンコポリマーである、組成物。

【請求項 3】 反応性可塑剤および開始剤の混合物を含む重合可能な組成物であって、ここで、該重合可能な組成物が、硬化する前は半固体である、組成物。

【請求項 4】 請求項 1、2 または 3 に記載の重合可能な組成物であって、ここで前記反応性可塑剤が、アクリレート、メタクリレート、ビニルエーテル、およびジエンから選択される、組成物。

【請求項 5】 周囲温度または高温で透明である、請求項 1、2、3 または 4 に記載の

重合可能な組成物。

【請求項 6】 デッドポリマー内に反応性可塑剤の架橋ポリマー網目構造を含む硬化樹脂。

【請求項 7】 硬化の際に低い収縮度を示す、請求項 6 に記載の硬化樹脂。

【請求項 8】 請求項 7 に記載の硬化樹脂であって、形作られた物品の形態を有し、該形作られた物品が、光学的レンズ、コンタクトレンズ、他のレンズ、光データ記憶ディスク、または透明なシートである、硬化樹脂。

【請求項 9】 物品を形成する方法であって、該方法が、以下の工程：

a) 反応性可塑剤、開始剤、および必要に応じてデッドポリマーおよび他の添加剤を共に混合して、半固体の重合可能な組成物を形成する工程；

b) 該半固体組成物を所望の形状に形作る工程；および

c) 該半固体組成物を重合エネルギー源に暴露し、生じる物品を得る工程；

を包含する、方法。

【請求項 10】 請求項 9 に記載の方法であって、該方法において工程 b) が、以下の工程：

(i) 前記半固体組成物をプリフォームに形成する工程；

(i i) 所望の形状に対応する鋳型を提供する工程；

(i i i) 該プリフォームを該鋳型内に配置する工程；および

(i v) 必要に応じて加熱した状態で、該鋳型を圧縮し、その結果、該半固体組成物が、該鋳型の内部キャビティの形状となる工程；

を包含する、方法。